

令和6年度（茅ヶ崎支援学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課題	目標	実施結果と目標の達成状況
1. 法令遵守意識の向上 (法令の遵守、服務規律の徹底)	社会人・公務員として 非行の防止に努め、自 覚ある行動をとる。	「神奈川県公立学校教職員の倫理に関する指針」において求 められている行動を再確認した。また公務員としての規律・ 義務を周知し、服務の徹底についての呼びかけを継続的に行 い、法令遵守意識を高めた。
2. 職場のハラスメント (パワハラ、セクハ ラ、マタハラ等)	相手の感じ方を尊重 し、人権を尊重した態 度を守り、ハラスメン ト行為を防止する。	人権研修会において「L G B T Q」をテーマに、多様性を認 め、児童生徒一人ひとりが安心できる学級風土について考 える機会を持った。また、同僚性を高めるとともに、お互いに 注意喚起できるような風通しの良い職場づくりを目指した。
3. 児童・生徒に対する わいせつ・セクハラ行 為の防止	人権を尊重する意識と 態度を向上させ、児 童・生徒の感じ方を尊 重し、わいせつ・セク ハラ行為の根絶を図 る。	わいせつ事案等の根絶に向けた研修および不祥事根絶のため の自己点検や面談を実施し、わいせつ・セクハラに関する意 識向上と注意喚起を徹底した。携帯電話やメール等の適切な 使用についても繰り返し呼びかけ、一人ひとりが自分事とし てとらえ、リスク管理ができる組織づくりを目指した。
4. 体罰、不適切な指導 の防止	児童・生徒一人ひとり の人権を尊重し、様々 な状況に対して丁寧で 適切な支援・指導を行 う。	体罰を許さない、不適切な指導は見逃さないという意識を高 め、児童生徒の実態をおさえた適切な指導の指導方針や方法 について共通理解をして支援にあたった。「さん付け呼称」 の取り組みを継続的に行い、人権を尊重する意識や態度につ いて日々見直し、丁寧で適切な支援・指導につなげた。
5. 入学者選抜、成績処 理及び進路関係書類の 作成及び取り扱いにか かる事故防止	入学者選抜、成績処理 や進路に関する個人情 報書類に係る事務処理 を適切に行い、事故防 止の意識を高める。	入学者選抜や進路に係る書類の保管・管理を徹底し、特に作 成中の書類の取り扱いには注意喚起の呼びかけを作成中常に 行った。進路に関する個人情報の持ち出しについて、内容等 の確認をしっかりと行い、持ち出す際には許可を得ることを徹 底した。
6. 個人情報等の管理、 情報セキュリティ対策	記録メディアや文書の 管理を徹底し、個人情 報の紛失・流出や誤配 付・誤送信を未然に防 止する。	個人情報棚の整理整頓を日々行い、適切な管理をすることで 事故防止ができた。また記録メディアの適正な使用と管理及 びチェック体制を徹底した。著作権についての研修を行い、 広報用印刷物やホームページ等で発信する場合の注意点につ いて確認した。
7. 交通事故防止、酒酔 い・酒気帯び運転防 止、交通法規の遵守	法令遵守を徹底し、交 通事故や交通違反の発 生を未然に防止する。	リーフレット等を活用して、自転車等も含めた安全運転への 意識向上に向けた自己チェックを実施した。特に12月には飲 酒運転の根絶に関する研修を行い、注意喚起と事故防止の徹底 を図った。

8. 業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	業務の効率化や調整を図り、教職員間で協力体制を作り上げ、自己や不祥事を未然に防止する	業務の効率化を様々な場面で意識し、業務を簡素化することで、事故を見逃さない体制づくりと、複数の目での文書チェック体制の推進や点検者の意識の向上に努めた。不明な点を放置せず、迅速な連絡・相談により問題点の整理と対応を行った。
9. 財務事務等の適正執行	公費及び私費会計の執行を適正に行う。	私費会計における校内マニュアルを「会計処理の手引き」に沿って見直し、各会計の計画的な予算執行と適切な会計処理を徹底した。用途を明確にしたことで、より適切な会計の運用につながった。業者の選定についても、業者選定会議での協議をもとに適切に行った。

○令和6年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和7年度に取り組むべき課題
(学校長意見)

風通しのよい職場づくりに努め、全職員で事故・不祥事防止に取り組んだ。今後も心理的安全性を確保できる職場づくりを進め、不祥事防止会議や点検資料等を活用しながら学校全体の取り組みを推進し、人権意識の向上と事故防止・不祥事防止を図っていく。